

## 《はじめに》

花々が咲き誇り、大変美しい季節となりました。時には最高気温が30度に達する日があるなど、初夏を迎えようとしています。古賀志周辺の田んぼでは、田植えが順調に進み、緑の苗が風にそよぎ水に映った風景は大変美しいものです。

ところで、今年は未知のウイルス「新型コロナウイルス」の感染拡大により、これまで誰も経験したことの無い状況となっています。4月16日には全国の都道府県に緊急事態宣言が発令され、5月14日には解除されたものの、外出が厳しく制限され買い物などもままならず、ゴールデンウィークは家でおとなしく過ごすしかありませんでした。

今のところ栃木県の感染拡大は抑えられていますが、第二波の到来も予想されています。命に関わることで絶対感染しないよう、三密を避けるなど「新しい生活様式」でお過ごしください。

城西小は3月2日から臨時休校となり、子どもたちのにぎやかな声が学校から消えてしまいました。孝子桜まつりや古賀志山清掃登山などの地域と学校の連携事業も軒並み中止となって、地域の賑わいが消え、活力・エネルギーが小さくなってしまったようです。

この様な中、城西小は、今年度新たに新入生17人を迎え児童総数105人（過去最大）で、小規模特認校となって以来16年目のスタートをきりました。

こんな時だからこそ、地域コミュニティの中心である城西小を一層盛り立てるため、これからも一歩一歩前へ着実に進んでいきましょう。

今回も、地域の皆様に地域や西小の最新情報などをお届けします。



田植え風景、古賀志山が美しい

## 西小報告

### ◇◇いよいよ6月1日から学校が再会されます！！◇◇

今年度、7年ぶりに市川先生を新たな校長先生としてお迎えし、平成2年度がスタートを切ったわけですが、あろう事か新型コロナウイルスの影響で、大荒れの船出になってしまいました。

年度当初から休校が続き、子供達の学びや学校行事は大幅な変更を強いられ、6月1日からやっと再開される事になりましたが、再開後の予定も大変なことになっています。

夏休みが8月1日（土）から16日（日）までと大幅に短縮されるほか、その後の学校と地域が連携して取り組む行事も予定が立たない状況です。

こんな時だからこそ、地域と学校の連携の真の力が試されることとなります。互いを支え合い、一刻も早く元の状況に戻れるよう、いえいえこれまで以上の強固な関係となるよう、結束していきましょう。



孝子桜は今年も美しく咲きました！



昨年の孝子桜まつりの様子



昨年の古賀志山清掃登山



地域協議会も開催できていません

## 活動報告

### ◇◇こがし桜ルネサンス事業で「二宮堀」の掘りざらいを行いました！◇◇

古賀志の大切な地域資源である田園や農業用水路などの農村景観を、地域と地域を支える方々が協力して適正に管理・活用する取組「こがし桜ルネサンス事業」として、4月5日（日）に二宮堀の掘りざらいを今年も行いました。

コロナ禍の中においても、古賀志の水田を潤す大切な水を引く農業用水路である「二宮堀」の掘りざらいは、欠かせない作業です。日光市境の起点から全長3Kmにも及ぶ長い農業用水路ですが、上流部を中心に昨年の台風19号災害の影響で甚大な被害を受け、土砂が大量に溜まってしまいました。

今年はバックフォアを入れたり、関係者の皆さんがシャベルで土砂をかき出したりと、へとへとになりながら作業を行い、どうにかスムーズに水が流れるようになりました。

関東東北豪雨の被害が記憶に新しい中で、立て続けに災害に見舞われましたが、地域の皆さんの懸命な努力で二宮堀が維持されています。

大変お疲れ様でした。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



掘りざらいの様子すごい土砂の量です 取り入れ口の復旧（昨年12月の作業）

水田に水が来ました！

### ◇◇『古賀志そば生産組合』が設立されました！！◇◇

農業者の高齢化と担い手不足が加速しています。また古賀志の農地は、土地改良未実施や山間の圃場、畑が多い所です。鳥獣害も深刻化しており、耕作放棄地がどんどん増えるなど、農地の保全が大きな課題となっています。

こうした課題を解決するため、農作業の受委託や共同化、農村環境保全活動への取組などを行う必要があります。これをスムーズに実現し、古賀志地区の農業振興と活力向上を図ることを目的に『古賀志そば生産組合』が設立されることになりました。

5月23日（土）に古賀志公民館にて、来賓として宇都宮市役所とJA宇都宮の担当職員の方々をお招きし、設立総会を開催しました。設立メンバーは7人で、北條孝男さんが組合長に就任しました。

宇都宮西部地区では初めての組合設立ということで、市や農協の期待も大きいようです。組合員の農地で共同作業によりそばの栽培を行い、生産されたそばは、地区内の北條麵工房に提供し、農業生産の地域内循環、地産地消を図ることにしており、是非成功させたいところです。地域の皆さんも見守っててください。



設立総会の様子



そばの花が美しい畑（イメージ）



圃場のひとつ（中土手の桜の隣です）

◇◇「新しい生活様式」を励行して、新型コロナウイルスの感染から身を守りましょう！  
～今後とも考える会の活動に対して、ご協力とご支援をよろしくお願いいたします。～